



# 南十字星

発行者  
クイーンズランド  
補習授業校  
校長  
丸山吉信

## いよいよ文化祭

文化祭がとうとう今週となりま  
した。今年には補習校祭りから文化祭とい  
う名称に変更しての実施です。先々週、  
文化祭の目的について全校朝礼でお  
話したように、文化祭では日頃の学  
習成果の発表と芸術、文化に親しむ活  
動をします。時間、場所、内容は以下  
の通りです。

一・日時 十一月二十一日(土)

十一月四十分〜十四時三十分

(三校時までには通常授業です。)

二・場所

【学習発表、舞台発表の場所】

デル アルテ シアター

\*デルアルテシアターは、ネアンシア  
ターの下にあります。

【展示の部会場】

Q2R8 (昨年の中一教室)

【模擬店会場】

全校朝礼広場(アンダーカバーエリア)

三・プログラム

(一) 開祭宣言 十一時四十五分

(二) 舞台発表 十一時四十七分

司会・松本英美里、酒井杏奈

①小4 楽器演奏・合唱「君をのせて」  
②幼稚部 歌「ふるさと」

③小一 「みんなで元気に暗唱します」

④小二 朗読「スイミー」、手話歌「手  
のひらを太陽に」

⑤小三 「伝えよう、楽しい学校生活」

⑥小五 「よりよい暮らしのために私  
たちにできること」

⑦小六 群読「雨ニモマケズ」

⑧中二・中三 「ダンス」

(三) 模擬店開始 十二時二十分

(四) 作品展作品鑑賞、クラス展示見  
学 十二時二十分〜十四時三十分

(五) 学校長閉祭の辞 十四時三十分

四・内容

【クラス展示】

1. 小二 視写「手のひらを太陽に」

2. 小五 「活動報告書」

3. 中一 「歴史上の人物&地域紹介」

【作品展】

絵画、写真、書道、工作

【クラス企画模擬店】

小六「ロールケーキ」

「焼きおにぎり」

中二「クレープ屋」

中三「たこ焼き屋」

中一「ヨーヨー釣り」

「チップ投げゲーム」

【保護者会&運営委員会模擬店】

・運営委員会ブース「びじんカレー」

四ドル

・保護者会ブース 「焼きそば」 四ド  
ル、「パン」二、五〇ドル、「寿司」二  
ドル、「唐揚げ」一ドル、「ドリンク」

缶入り一ドル、ペットボトル二ドル、

「ゲーム」五〇セント〜、「バザー品  
目」五〇セント〜、「ラッフル」一枚

二ドル、三枚五ドル、十枚十ドル

・保護者有志ブース

「抹茶カフェ」:①抹茶ラテ、チャイラ  
テ、チョコレート、コーヒー:2.\$4.00

M:\$4.50 L:\$5.50 ②抹茶フラッペ

\$4.50、カルピスソーダ\$3.00

「和菓子司」和菓子各種二、五〇ドル

「文具屋」文具、カード

(文化祭注意事項)

一・発表終了後、シアターで園児、児  
童の引き渡しをしますので、保護者の  
皆様はお子様の引率をお願い致しま  
す。

二・クラス毎に展示を見る時間があり  
ますので、担任から集合の合図があつ

たら、集まって下さい。

三・閉祭後の出欠確認はしませんので、  
各自解散、ご帰宅願います。尚、早退  
するときは、担任に声をかけてからお  
帰り下さい。

四・当日の服装は自由です。

お願い

一・保護者の皆様をお願い致します。  
全校朝礼や授業参観では私語を慎ん  
で下さるよう、お願い致します。

二・文化祭会場に学校評価のアンケ  
ーを再度設置しますので、ご協力をお  
願い致します。

今後の予定

十一月二十一日 文化祭

十二月五日 新入生願書締切

十二月十二日 第三学期終業式

一月二十三日 第四学期始業式

お正月集会

運営委員会

海外子女文芸作品コンクール

文科省の外郭団体である海外子女  
教育振興財団主催の第三十六回海外  
子女文芸作品コンクールの最終審査  
が終わり、入選者の発表がありました。  
今年には世界中の全日制日本人学校や

Brisbane Office (火・木) : 07 3870 0360

Gold Coast Office (水・金) : 07 5531 6661

補習授業校から合計四万三百十一名の応募があり、作文、詩、短歌、俳句の四つの部門から合計五百作品の入選者が選ばれたとのこと。同財団のホームページに特別賞を含む全入選者のデータが掲載されていますので、ご覧下さい。

クイーンズランド補習校からの入選者は以下の通りです。たくさんのご応募、ありがとうございます。

【作文】  
優秀賞 石岡結衣 (BNE 小四) 「お守り」

【詩】  
佳作 高見澤紗羅 (BNE 小四) 「ふるさと」

【短歌】  
佳作 神門創太 (GC 小三)  
大雨で 学校休み 校ていに 水がたまって ペリカンおよぐ

【俳句】  
佳作 菅原 杏 (BNE 中二)  
休み中 ひまわり日記 かきつけ

佳作 高木龍之進 (BNE 中三)  
自転車の かごいっぱい 青りんご

「お守り」

小四 石岡結衣

私はここブリスベンにお父さんの

お仕事で二年半前に来た。日本でブリスベンに行くというほう告を聞いた時は、英語がしゃべれないとどんなに大変なのか知らなかった。ただ、あこがれていた外国に行けるなんて、すばらしい事だと思っていた。でも、大変だと気がついたのは、初めて学校に行つてすぐだった。学校に入ったしゅん間、私の知らない世界に入った気がしたからだ。私は、不安な気持ちでいっぱいだった。どうしよう。こわいよ。家族と一緒にいたいよ。私の目からは、光っている涙がこぼれそうだった。泣きたくない。泣いたらみんなに注目されちゃう。私は、涙がこぼれるすん前に服でぬぐった。私は、泣かないで、一日をがんばって、少しでも楽しい日にした、という決心ができた。

学校はつらかった。いいたい事があるのにいえないのがすごく悲しかった。お友達の話しかけてくれているのに、答えられない。毎日つらい事があると、その夜、お風呂の中でずっと泣いていた。でも、お守りを持って行くようになった時から勇気を出せるようになった。「ゆいのお笑顔がいっぱい見れますように。」お母さんは、私の心を強くするために、こんなメッセージを書いてお守りの中に入れてくれた。私は、いつも忘れずにお守りをポケットの中にしまった。お母さんはいつもそばにいる、と自分に言い聞かせて、いつもがんばった。

私は、オーストラリアに来て初めてテニスを知った。私は毎週一回、学校のテニスレッスンをやっている。テニスをしていると、なぜか気持ちが晴れる。体を動かすと、すごく気持ちがいい。何もかも忘れて、体だけを動かす。そういうスポーツが私の大好きなスポーツ。それから私は、UQでもテニスのレッスンを始めた。そして、UQのトーナメントにも出てみた。もちろん、お守りも忘れずに。私のグループの中では、決勝せんに出ることができた。私は、一つ一つの試合の前に、お守りをにぎりしめてからたたかった。負けそうな時にもにぎりしめた。だから、がんばれた。対せん相手は、同じレッスンに行っているアニーちゃんだった。アニーちゃんはすごく上手で、いろいろなたーナメントでゆう勝している。せっかく決勝せんに出れるのだから、負けそうになってもあきらめないで、最高の試合にしたい、と強く決心した。ゆう勝者は、先に十二点取ったほうが勝ち。私は、お守りをギュッとにぎりしめた。勝ちたい。勝って、家族を喜ばせたい。そう願った。試合はせつせんだった。ついに、十一対十一になった。これで決まる。ゆう勝者が決まる。私は深呼吸をして、球を打った。長いラリーだった。でも、私はコートの中をねらって打った。アニーちゃんが打った球がネットに引かかった。何が起きたのか信じられなかった。あこがれていた、ゆう勝。私は、うれしくてたまらなかった。私は、本くらいの大きさのトロフィーをもらった。そこには、Winnerと書いてあった。私は、急いでお母さんとお父さんのほうに行つて、トロフィーをわたした。いっぱいほめてくれて、うれしかった。